



The service club to the YMCA
 THE Y'S MEN'S CLUB OF
TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
 〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
 西宮 YMCA 内
 Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2017年2月会報 第341号

- 主 題 ・ 標 語
- 国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)
 主 題: “ Our Future Begins Today ”
 「私達の未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao
 主 題: “ Respect Y's Movement ”
 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)
 主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
 “ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”
- 副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」
 Doubling membership through having substantial
 Meetings and active service!
- 六甲部部长 長井 慎吾 (西宮)
 主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で
 更なるクラブ活性化を図ろう」
- 宝塚クラブ会長 若林 成幸
 主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ TOF (クラブで断食して世界の貧困支援)
 CS(地域奉仕)
 FF(家庭で断食して世界の貧困支援)
 「下着を二枚持っている者は、一枚も持たない者
 に分けてやれ。食べ物を持っている者も同じように
 せよ」
 (ルカ3章10~11節)

2017年2月例会

日 時 : 2017年2月8日(水)18:30
 場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間
 会 費 : 会員3,000円、会員外2,500円
 ドライバー 鯖尻 佳子 長尾 亘

開会点鐘 若林 成幸会長
 ワイズソング 全 員
 ゲスト・ビジター紹介 会 長
 聖書朗読 杉谷和代
 祈 禱 青柳美知子
 晩 餐 一 同

お話し 山口 幸さん
 「明日の福祉に希望の光を」
 ～オリンピックのノーマライゼーション～

インフォメーション
 YMCAニュース
 誕生日記念日

閉会点鐘 若林成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	Y M C Aサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子 ・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう!	吉田早苗(10日) 福田 肇 (11日) 加藤光信(12日)
1 月 実 績	例会出席者数 21名 在籍会員数 19名(名誉会員1) 出席会員数 15名 出席率 83.33% メイクアップ(内数) 1名(鯖尻) メネット 3名 コメット・孫メット0名、ゲスト・ビジター3名
	B Fポイント 1月 0円 累 計 16,191円 にこにこBOX 1月 4,000円 累 計 24,500円 ファンド(物品販売) 0円 累 計 54,665円

1月第1例会報告

1月例会は11日(水)宝塚ホテルで6時30分から開催され、定例の開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷のあと

会食にはいり終了後、当日のゲストスピーカーである、臨床美術を専攻されてる佐藤晴奈先生による実践教室が開かれた。



あまり聞きなれない臨床美術という言葉に一同困惑しながら挑戦した。元々認知症の方に開発されたツールですが、様々な方面に活用されているようです。



一同絵心もなく四苦八苦しなながら、また先生の上手なお褒めの言葉に乗せられて、めいめいの作品を完成させ、お互いに、俄か評論家になって楽しい勉強の時間を過ごしました。一つのテーマを

与えられても各人各様の表現が異なり、面白い体験でした。



その後 YMCA 報告、誕生日お祝い、閉会点鐘で終了しました

福田 肇

1月第2例会報告

1. 日時:2017年1月18日(水)18時30分-20時30分 西公民館会議室
2. 出席者 若林、吉田、青柳、堀江、石田、多胡、福田(宏)長尾、多胡、武田
3. 議事
 - 1) 市民クリスマスの反省
 - ・会計報告

収入の部	予算	決算	支出の部	予算	決算
教会からの献金	150,000	150,000	ペガ使用料	200,000	214,548
出演者協力金	150,000	105,900	ピアノ調律費	22,000	21,600
ワイズ抛出金	100,000	154,521	出演者謝礼	130,000	120,000
その他の協力金	50,000	50,995	印刷費	30,000	18,860
			練習会場費	10,000	10,000
			飲食費	50,000	55,000
			通信費	3,000	3,085
			プレゼント菓子	5,000	5,301
			小道具・雑費		13,022
合計	450,000	461,416	合計	450,000	461,416
◎会場募金		121,614円			

- ・ページエントの評価 準備不足はあったが、プログラムに変化があり、来年も依頼する。関学同窓会宝塚支部に後援依頼し、集客につなげる。
- ・ハレルヤコーラスの朝日新聞に掲載された記事をY's men's World に掲載する。

2)2月以降の例会運営は3. 4. 5月のプログラムの葉書を印刷し集客をする。

- 3月8日 草野 修氏
シュバーダイビングから見た
海の環境(仮)
- 4月12日 若林寛之氏
北朝鮮問題をどう考えるか
- 5月10日 岡崎桂二氏
イスラムの世界

西日本区の東日本災害募金に 19,000

熊本地震支援 19,000 計 121,614 円

3) 西日本区大会実行委員会報告(別紙)

すでに準備委員会が3回開催され、1月16日の第1回実行委員会で、日本旅行がオフィシャルエージェントに決定、実行委員会のメールリンクを立ち上げ、情報の共有する。(長尾担当)ホームページに英語登録を作成予定、西日本区大会で使用するフライヤーの案が3つ広報委員会から出て、1案に条件付きで決定、修正を依頼する。2/6 登録委員会、2/16 プログラム委員会、2/23 会計委員会開催予定。

4) 各委員会報告

・あがれ希望の凧 3月11日1時-4時震災追悼の会(中村徹・健、コンサート及び朗読)パッチワークの展示や凧揚げの準備を手伝う。基本的にはんしん自立の家主催のプログラムに協力、凧の作成とその材料費ゴミ袋代を負担(2月第2例会で試作予定、多胡が材料準備)

・DBC(鹿児島クラブ)の進め方
西日本区大会時に岩国とトライアングルで交流し DBC 締結を協議する。

5) 友好クラブとの交流予定

さんだクラブ バレンタインコンサート2/11入場券購入依頼

6) ブリテン編集 原稿締め切り1/25、

校正1/30-31、第2校正 2/1
原稿依頼 1月例会多胡、第2武田
YYフォーラム?会長の言葉 若林、
他クラブ訪問 中西部訪問を鯖尻、
YMCA ニュース 谷川
アピール(3/11)多胡、
メネット会 福田(素)

7) 2016-2017 会計中間報告(7月-12月)が

あり、概ね順調に推移、検討事項は以下が承認された。(別紙)

1) 市民クリスマス会場献金の用途

国際協力募金—83,614 円

2) メネット事業支援金 2 万円

その他

- ・例会出席者 21 名(出席会員 15 名、
メイクアップ 1 名、メネット 3 名、ゲスト 3 名)
- ・BFポイント 累計 160,198 円
ニコニコBox 4000 円累計24,500円、
ファンド(物品販売)累計 54,665 円
- ・2月ドライバー 鯖尻、長尾
聖書朗読 杉谷 祈祷 青柳
ファンドの豚肉販売予定

書記 武田寿子

会長からご挨拶

2017年も早くも1月が終わりました。米国のトランプ政権が発足し、矢継ぎ早に打ち出される政策に世界は翻弄されているような様相を感じます。昨年、ドイツ旅行中でも見たり聞いたりした移民・難民の流出対策が、大国の民主主義の原点を揺るがし、身勝手と思えるほどの一国主義にまで急展開するとは!

さて、1月28日(土)に神戸栄光教会においてYYフォーラム「今しか聞けないブランディングのなぜ?~そしてみんなで歩きだそう~」の主題で、講演とグループセッションが行われ、宝塚クラブから鯖尻・青柳・武田・多胡・長尾・若林各メンが参加しました。

講演は日本YMCA 同盟の三浦友里江氏と大阪YMCA の船戸輝久氏でした。



「YMCA というブランドが社会でどのように認められ、他のブランドとどんな違いがあり、人々からどんな共感を得ているか」を 4000 人のアンケートの分析に基づいて、新たな YMCA イメージの検討が進められてきましたが、今回その成果が公表され、新しいブランドコンセプトが示されました。

ブランドコンセプト(これが日本の YMCA です。)は次の 3 つの項目により定義されています。

Vision (YMCA が実現したい世の中の姿) :

互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな世界を創る。

Value (YMCA が顧客・地域社会などに提供を約束する価値: したい何かが見つかり、誰かとつながる、私ができる、かけがえのない場所)

Personality (ブランドとして備えているべき個性、らしさ) : 心をひらき、わかち合う、前向きな、まわりを惹きつける魅力を持つ。

横浜 YMCA 総主事 田口 務氏のコメント

一人ひとりが自分らしく生き、誰かと連帯し、自分が目指すものがみつかると。YMCA はそういうかけがえのない場所です。そして、ポジとネガ、光と影というように、真にポジティブに生きるということとは、ネガティブな問題をしっかり直視して生きるということではないでしょうか。社会の中で、「この解決のために共に提案や活動をしていこう」と呼びかけ、そこで本当に自分の仲間だと思えるつながり、ネットワークが生まれること、これこそが、YMCA が広めるポジティブネットだと考えます。

全国 YMCA の今後の動き。

2017.6 月 同盟協議会で発表

2017.10 月以降、新ロゴ、スローガン、ガイドラインによって、ブランドコミュニケーションを推進。

今後、色々な場面でこれの展開が進むと思います。宝塚クラブも積極的に関わって行きたいと思えます。

若林成幸

例会ゲスト・プロフィール

山口 宰氏
社会福祉法人オリンピア常務理事
神戸国際大学経済学部
准教授・博士(人間科学)

他クラブ訪問

中西部合同新年会に出席して

1月21日(土)大阪YMCA会館で開催された中西部合同新年会に石田メンと一緒に出席してきました。

第一部は岡野泰和メンの司会で西野陽一部長による開会点鐘、挨拶に続き一同でワイズ



ズソング斉唱、聖書朗読。岩本悟理事のご挨拶、ゲスト紹介でした。第二部は癒しの音楽。ピアノ、ヴァイオリン、歌でエルガーの「愛の挨拶」シューベルトの「ます」、ボブディランの「風に吹かれて」。また皆で「幸せなら手をたたこう」を身振り手振りでテンポアップしながら楽しく過ごしました。この曲はYMCAのキャンプ参加したときに作られた曲とか。詩編の聖句からインスピレーションを受けられたそうです。アンコールでは皆で「花は咲く」を日本のまた世界の平和を願って歌いました。第三部のアピールタイムに続き第四部では懇親会。新年の初めに相応しく鏡開きが行われました。乾杯後皆で楽しく食事しながら歓談です。交流を楽しみました。初めてお会いする方とも話が弾み、再会が楽しみです。寒い日では

ありましたが、心温まり今年もワイズ楽しもうと心新たに帰路に着きました。

鯖尻佳子

揚がれ！希望の凧
2017年のプロジェクト

宝塚ワイズメンズクラブは昨年まで東日本大震災支援プロジェクトとして5年間を区切りとして東日本の被災地の方々を覚え宝塚の地から希望の凧あげをして被災地の方々に寄り添う気持ちをお届けしてきました。

阪神淡路大震災から22年、東日本大震災から6年、熊本大震災から1年と身近な国内で起こっている大震災の数々。多くの方々の尊い命が奪われ、また傷ついた多くの方々を覚え被災された方々の心に寄り添う気持ちをはんしん自立の家の入居者の方々と共にお届けすることを話し合いました。今年以下のように震災追悼のつどいとして計画を進めています。

震災追悼の集いプログラム

日時 2017年3月11日(土)午後1:00～4:00

場所 はんしん自立の家二階ロビー及びむこにゃん広場

主催 はんしん自立の家

協力 宝塚ワイズメンズクラブ、武庫川がっこう

プログラム

第一部 むこにゃん広場にて 揚がれ！希望の凧！ 揚げ

自立の家二階ロビー 震災関係の読み聞かせ

第二部 中村健先生、徹さんによるデュオピアノコンサート、フラとコーラス

多胡葉子

【今月のみ言葉】

この聖句は、主イエスがガリラヤで宣教活動を開始される直前の時期、荒れ野で活動していた洗礼者ヨハネが群衆に向かって語った言葉です。このときヨハネは、差し迫る神の裁きを免れるためにも悔い改めの実を結ぶようと人々に厳しく要求するのですが、これを聞いた群衆は途方に暮れて、「では私たちはどうすればよいのですか」とヨハネに問いかけています。それに対してヨハネは、二枚の下着を所有している人は、一枚も下着を持っていない人にその内の一枚を分け与え、食べ物に関しても同様にしなさいと勧告しているのです。

注目すべきことに、この言葉は、通常の貧者支援の勧めとは少々意味合いが異なっています。というのも、ここで貧しい人々を支援するように求められているのは、経済的にゆとりのあるお金持ちや資産家ではなく、自らも下着を二枚しか所有していない、ほとんど余裕のない貧しい人々だからです。その意味でも、ここには貧しい者同士が助け合う、相互扶助の理念の上に立つ共同体の姿が描かれており、すべてのメンバーが一切の所有物を共有し、誰かが欠乏した際には持てる者がそれを補っていた最初期のキリスト教会の姿が暗に示されています。もちろん、相互の助け合いは金銭面にのみ限定されるものではありません。いずれにせよ、弱った時、困窮した時には、お互いに助け合うことができる関係、まさにそれこそが真の隣人の関係であることをこの言葉は語りかけているのでしょう。

嶺重 淑

YMCA だより



寒さが一番厳しい時期を迎えています。12月にはあまりに暖かく「スキーキャンプは催行できるのだろうか」と悩み、1月に入り雪が積もる日があれば「インフルエンザが流行るのでは」と悩み、いかに煩惱に振り回されながら生きている自分に気づかされます。自分ではどうしようもない自然に対してこのような思いを抱くのですから、ましてや自分が言えばなんとかできるのではと思っている周りの人にはどうなんでしょうか？

先日、アドラー心理学で有名な岸見さんの講演を保育関係の会で拝聴しました。人の悩みは、人との関係につきて、と言われましたが、まさに家庭でも職場でも人とのかかわりが、人生を豊かにも人生を貧しくにもしてしまうことが想像でき、「自分自身」を問い直しながら歩まなければと感じました。

2月の保育園の聖句は「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。(新約聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 4章18節)」です。春は変化の多い時ですが、だからこそ大切にすべき見えないものに心を注ぎたいと感じます。

1) 発達支援セミナー

神戸YMCAでは、神戸市西区・中央区・西宮市で就学前の幼児期にある支援が必要な子どものための「児童発達支援事業」を、また神戸市西区と西宮市で発達障がいがある小中学生の社会性や学習指導を行う「サポートプログラム」を行っています。そのような子どもの支援のための心構えを学ぶ発達支援セミナーを実施します。今回は特に子どもにとっての最大の支援者である保護者を支えることも学んでいきます。発達に課題がある子どもに関わる方はぜひご参加ください。

日時 2017年2月11日(土)10:00～11:30
場所 神戸市勤労福祉会館(三宮徒歩3分)
対象:発達支援が必要な子どもに関わる方

またあわせてYMCAの発達支援に関わってくださるボランティアを募集していますが、支援の方法などを学ぶボランティア養成講座も行います。こちらに関心のある方ぜひご参加ください。

日時:4月15日(土)13:30～17:30

場所:西宮YMCA

どちらも詳細、申し込み方法は神戸YMCAホームページをご覧ください

(<http://www.kobeymca.org/>)

2) 募金感謝

先日の市民クリスマスキャロルをうたう夕べでの会場献金より、神戸YMCAへは「国際協力募金」を、また西日本区を通じて、東日本大震災復興と熊本地震に募金をささげてください感謝です。

神戸YMCAでは、災害や紛争、また地域の状況に虐げられている人びと、若者のために国際協力募金を毎年行っています。国内外幅広い範囲での募金となりますので、理解を得ることも年々大変になってはいます。下記案内のサイトでも説明とインターネット募金を行っていますので、またぜひご覧ください。

<http://kifu-kobeymca.org/>

ありがとうございました。

**第21回(2018年)西日本区
大会実行委員会がキックオフ**

大野勉次期理事(現在)チームの集大成である西日本区大会は2018年6月9日～10日、新神戸駅前のANAクラウンプラザ神戸で開催予定です。その企画・運営を担う実行委員会のキックオフミーティングが2017年1月16日(月)、18:30から神戸YMCAで持たれました。3回に及ぶ準備委員会で、過去のデーターを参考にして、副実行委員長、6つの小委員会委員長、委員などを選び組織図を完成。(図参照)宝塚クラブは神戸ポートクラブと共に組織の中心になるホストクラブであり、クラブ挙げての実働になります。

これに先立ち去年12月26日に長井慎吾委員長のもとに広報委員会が開かれ、最優先であるチラシ作製、その他広報活動に関して話し合いました。

結果、チラシのデザインは宝塚クラブの貴重なユースの一人、重松えみりワイズが超多忙にもかかわらず

素晴らしい3案を提示し、今回の実行委員会で大筋が決まりました。えみりさんの素晴らしい才能に全員感嘆！私達は鼻高々！

キャッチは「すこやか、さわやか、ワイズとともに」です。実行委員会アピールキャラバンのデビューは3月18日～19日の会長・主査研修会です。

今後、毎月実行委員会、小委員会など会議がどんどん多くなっていくでしょう。委員会メンバーのみなさん、側でお支え下さるクラブのみなさん、これからの1年半、力を合せて楽しみましょう！

第21回西日本区大会実行委員長 石田由美子

第21回西日本区大会組織図



